

人体の不思議

人類の進化

人種って何だ？

日本人はどこから来た？

人類学を楽しもう！

「あなたは誰ですか？どこから来たのですか？
あなたの隣のヒトは同じヒトですか？」
自然人類学はこんな疑問にお答えします！

化石から何がわかるの？

動物としてのヒトの特徴って

文化と遺伝子の関係

ヒトと猿の違い

WHO ARE WE?

私たちは、自然人類学の研究者の集まり「**日本人類学会**」で広報・教育普及を担当している「**教育普及委員会**」です。自然人類学では生物としてのヒト（ホモ・サピエンス）について、様々な方面から研究しています。

私たちは、「ヒトって面白い!」、「ヒトって不思議!」という素直な気持ちを科学につなげるために、お役に立ちたいと思っています。人類学の知識を活用したい、連携すればもっと面白くなる、という皆さんとつながるように、私たちの活動の一部をご紹介します。

ご意見をお聞かせ下さい！

日本人類学会教育普及委員会の諸活動については、ウェブサイトをご覧ください。
「人類学 教育普及」で検索！

<http://www.jinruiiib.k.u-tokyo.ac.jp/cgi-bin/wiki/wiki.cgi/kyokasho>

お問い合わせは、東大・新領域、米田 稔 (myoneda@k.u-tokyo.ac.jp) まで。

中高生にヒトの生物学を！

生物学は暗記科目でつまらない…と思っている中高生が増えているようです。私たち自身を知ることによって、生きものって面白いと感じられるように、中学校・高校の先生と、授業に使える人類学的知見を研究しています。



高校生の実習ガイド（東大総合研究博物館・国立科学博物館・埼玉県立大宮高校SSH事業と連携）



先生向け講習会（国立科学博物館・東京都生物教育研究会と連携）



骨格標本をつかった授業の提案（国立科学博物館・東京都生物教育研究会と連携）

ひるべアールのせっかくの頭骨をもっと有効に使えないか

教科書って正しいの？

高校の生物IIでは人類の進化について学習する機会があります。しかし、人類進化の研究は日進月歩！より正しく、楽しくヒトについて学習してもらえるように、教科書会社に情報を提供しています。

色覚の進化 (K社 生物学II p-153)

「多くのほ乳類には色覚がないが、霊長類の祖先は色覚を備えていた。」
霊長類以外のほ乳類も完全色盲ではなく、2色型の色覚を備えています。「多くのほ乳類は2色型色覚（赤・青）だが、霊長類の祖先は3色型色覚（赤・緑・青）を備えていた」がより適切である。

旧人の絶滅と新人の登場 (J社 生物II p-231)

「200万年前ころからは食料も豊富になり、人口は増えていった。」
250万年前頃から石器を使用して、動物を解体する証拠が得られる。この食性的変化をさしているならば、次のような表現がより適切である。また、その変化がアフリカ外への拡散に関連していることも重要と考える。「200万年前ころの原人は多様な食料を利用するようになり、人口が増えてアフリカからユーラシアへと拡がった。」

生物教科書に関する冊子はこちら↓↓

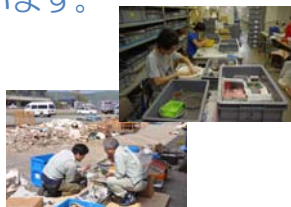


地域の歴史とアイデンティティ

全国の発掘調査によって数多くの古人骨が発見されています。人骨の発見は、地域の歴史や環境について考える機会になります。東日本大震災で被災した古人骨コレクションのレスキューでは人類学者が活躍しています。



2万年前の人骨が発見された沖縄県石垣市では市民向け連続講演会「骨講座」を開催しました。



国立科学博物館人類学研究所が石巻文化センターで実施した古人骨標本のレスキュー

博物館で人類学を学ぼう！

ヒトの不思議はいくつになっても学ぶことができます。全国には人類学を学べる沢山の博物館があります！その展示を解説し、展示の裏側に隠された研究者の熱い思いを紹介します。



港川人の生体復元モデル（国立科学博物館）

旧石器時代：港川人の中年（初老？）未婚の生活 お互いに食物を見せあっている

およそ2万年前、狭い沖繩に住んでいた港川人たちは、みんなで協力して日々の糧を集めていた。小柄な骨文と細い上半身は栄養状態の良い（ない）放浪者の採集狩猟生活をしてきたことを暗示し、頑丈な顔立ちは硬い食物を食べていたことを示している。ヤン・バルクウィンは沖繩県立博物館から借りた複製を参考として成形した。木の実は現在あるいは2万年前の沖繩にあったであろう種類を選んだ。ホラガイは実物。木槌は、投げるために先が太くある。ただし、もっと長かった可能性が高い。女性に関しては、1万5000年前の上黒岩遺跡出土の小石に刻まれて女性像が描かれた磨製石器が発見されているとの国立歴史民俗博物館の森成秀典教授の意見に従い、腰巻を着けた。ところが、最近、森成教授は意見を変えて、あの刻は生殖器だろうというので、展示をどうしようか迷っている。男性は、よくわからないので裸にした。

（馬場悠男・国立科学博物館名誉館員）

↓↓ 科博ガイドマップはこちら！